

# 令和4年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 令和5年6月16日

部課名 商工部商工労政課

施設名	弘前職業能力開発校
施設の設置目的	労働者の職業訓練を行うため。
所在地	弘前市大字田町五丁目3番地3
指定管理者名	職業訓練法人 弘前職業訓練協会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
<b>1 事業計画の実施状況</b> 学科やコース毎に計画どおりの時間、講習内容で訓練を実施している。 【短期課程】 板金コース：42H、塗装コース：12H、建築コース：30H 【普通課程】 建築板金科、木造建築科、建築塗装科、左官・タイル施工科：450H	
<b>2 自主事業の実施状況</b> 自主事業の実績なし。	
<b>3 市民サービス向上のための取組状況</b> 青森県職業能力開発協会が実施する技能検定の案内パンフレットを会員事業所や訓練生に限らず、一般市民に対しても窓口となって提供している。また、普通課程訓練生が作成した練習作品を一般市民に無料で配布するなど、市民サービスの向上に努めている。 【木造建築科】四方転び応用作品：4個	
<b>4 市民ニーズの把握の実施状況</b> 普通課程の訓練生を対象に、訓練についてのアンケート調査を実施するとともに、事業主との懇談会を開催し、訓練についての意見交換を行うなど、利用者ニーズの把握に努めている。	
<b>5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）</b> コロナの影響がありながらも、短期課程23名、普通課程26名が在籍し、前年度から短期課程が2名増となっており、コロナ前の水準に戻りつつある。 今後も建設業界の人出不足が懸念されることから、訓練生を確保できるよう、事業者に入校を働きかけていくよう指導していく。	
<b>6 指定管理業務の収支状況</b> 計画的な予算執行や経費節減に努めるなど、収支の管理は適正であり、過大な繰越金もなく状況は良好である。	

## 7 実地調査の結果

改善指示等すべき点はなく、概ね良好である。

## 8 成果指標の達成度

短期課程 目標30名、実績23名、達成率76.7%

普通課程 目標28名、実績26名、達成率92.9%

令和4年度は、コロナの影響がありながらも、短期課程23名、普通課程26名が在籍し、前年度から短期課程が2名増となっており、コロナ前の水準に戻りつつある。

しかし、目標値達成とはなっておらず、今後も建設業界の人出不足が懸念されることから、訓練生を確保できるよう、事業者に入校を働きかけていくよう指導していく。

## 9 評価

### (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	協定書に基づき運営している。	
施設の管理	B	協定書に基づき管理している。	
経理の状況	B	帳簿等の整備保管、経費の削減に努めている。	
団体の財務状況	B	特に問題がない。	

### (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	協定書の内容どおり適正に運営している。	今後も施設の適正な運営に努めていただく。
施設の管理	B	協定書の内容どおり適正に管理している。	今後も施設の適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	帳票等を整備及び保管し、収支状況の把握に努めている。	今後も適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	財政状況に問題は認められない。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

**【評価の視点】**

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

**【評価の基準】**

<b>A</b>	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの
<b>B</b>	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
<b>C</b>	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
<b>D</b>	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準☒

<b>B</b>	問題がない
<b>C</b>	今後に注意を要する
<b>D</b>	早急な改善を要する